

一般社団法人 日本臨床栄養代謝学会
2023年度 第4回定例理事会議事録要旨

日 時：2023年8月28日（月）18時00分～20時30分
場 所：北里大学医学部上部消化管外科学 主任教授室（WEB会議システム「ZOOM」使用）
出 席：理 事 長 比企直樹
副理事長 鍋谷圭宏
理 事 石井良昌、市川大輔、伊藤明彦、犬飼道雄、遠藤陽子、大石英人
奥川喜永、尾花和子、亀井 尚、小山 諭、斎藤恵子、高増哲也
竹内裕也、千葉正博、永野彩乃、廣野靖夫、二村昭彦、増本幸二
光永幸代、三原千恵、名徳倫明、森 直治、森みさ子、山中英治
監 事 倉田なおみ、土岐祐一郎、花崎和弘、福島亮治
特任顧問 佐々木雅也、平田公一
事務局幹事 櫻谷美貴子、新原正大
第39回学術集会長 鷺澤尚宏
第41回学術集会長 鈴木 裕
欠 席：理 事 清水孝宏
記 録：瀧田実隆（事務局）

（敬称略：五十音順）

議 題：

I. 理事長挨拶

定款第5章第28条に則り、2023年度第4回定例理事会の開催が宣言された。議長は理事長が務め、議事録署名は定款第33条に則り理事長と出席した監事（倉田なおみ、土岐祐一郎、花崎和弘、福島亮治 各監事）となることが確認された。そして、議長によって、定足数の充足が確認されたほか、開催場所とZOOMでの出席者との間で情報伝達の双方向性及び即時性が確保されていることを確認された。

II. 第39回学術集会（JSPEN2024）について

鷺澤第39回会長から、現時点での演題登録数とプログラムの構成について報告があった。JSPEN2023に次いで、同一年度の年度学術集会とのことで、企業共催に関して予定通り進行していないことが確認された。本件について、理事会の先生方に積極的な尽力の申し出があった。

III. 第41回学術集会（JSPEN2026）の会期および会場について

鈴木第41回会長から、下記の日程、会場で準備を進めていることが報告された。本議案は2024年2月の定時社員総会に提出する。

会 期：2026年2月13日（金）～14日（土）

会 場：パシフィコ横浜 ノース全館、アネックスホール、展示ホール

IV. 会員動向について

事務局幹事より 2023 年 6 月 30 日時点の会員動向について、報告された。

■2023 年 6 月 30 日現在

会員種別	2023 年 3 月 31 日	2023 年 6 月 30 日	増減
名誉会長	2 名	2 名	0 名
名誉会員	46 名	46 名	+1 名
特別会員	79 名	78 名	-1 名
代議員	245 名	245 名	0 名
学術評議員(代議員は除く)	512 名	511 名	-1 名
正会員	22,975 名	23,268 名	+293 名
寄贈会員	8 名	8 名	0 名
総数	23,868 名	24,158 名	+290 名

■職種別

医師	4,904 名	管理栄養士	6,942 名	言語聴覚士	642 名
歯科医師	462 名	栄養士	37 名	歯科衛生士	131 名
看護師	4,372 名	臨床検査技師	630 名	診療放射線技師	4 名
准看護師	1 名	理学療法士	520 名	その他*	534 名
薬剤師	4,830 名	作業療法士	149 名	合計	24,158 名

■2023 年分会費納入率 (2023 年 6 月 30 日現在)

会員種別	納入者数	未納者数	納入率
代議員	229 名	16 名	93.4%
学術評議員	475 名	36 名	92.9%
正会員	17,149 名	7,009 名	70.9%
総数	17,853 名	7,061 名	73.9%

■物故会員

名誉会員 細田 四郎(令和 4 年 12 月 21 日逝去)

特別会員 小山 眞(令和 5 年 5 月 17 日逝去)

V. 会計中間レビューの報告

尾花財務委員長より 2022 年 12 月 1 日から 2023 年 5 月 31 日の学会事業の収支状況の説明がされ、健全な学会運営をされていることが確認された。

VI. 周術期、救急・集中治療専門管理栄養士から「急性期栄養治療専門管理栄養士」への資格名称変更について

「周術期、救急・集中治療専門管理栄養士」の商標登録が難しく、また資格名が分かりにくいとの声が多かったことから、資格名称を「急性期栄養治療専門管理栄養士」に変更し施行準備を進めることが承認された。

VII. 各種委員会・部会・WT・WG・PT 審議事項

総務委員会（鍋谷副理事長）

① 名誉会長・名誉会員・特別会員推戴の内規制定について

名誉会長・名誉会員・特別会員の推戴選考において、年齢制限による対象者増加への対応策として、推戴候補者の選考対象期間を直近 10 年間に設定し、明確な選考条件を定める内規の制定が承認された。

将来構想委員会（市川理事）

① 若手医療従事者 国内施設研修支援制度について

若手医療従事者 国内施設研修支援制度案が承認された。将来的に職能 3 部会以外の職種も対象に、栄養治療の環境整備を目指すことが確認された。

② 理事選挙 立候補方法の見直しについて

選挙権と非選挙権を明確化するため、現行のウェブサイトからのダウンロード方法から、学会事務局に希望を伝えて資料を送付し、立候補準備をする方法へ変更することが承認された。また、定款施行細則 1 条 3 号に「正会員は次の権利を有する。理事選挙の選挙権、被選挙権」と記載があるため、将来的には代議員のみに権利があることが分かる文言に変更していくことが確認された。

③ リハビリ WG、口腔ケア WG、肥満栄養治療 WG の設立について

将来構想委員会の下部組織として、リハビリ WG、口腔ケア WG、肥満栄養治療 WG の新設が承認された。各 WG は職種に縛らず、各分野を学びたい方々で構成され、部会への発展を見据える足がかりとすることが確認された。また、各 WG のメンバーは理事からの推薦に基づいて選考されることが確認され、名称についても適切な形にすることが確認された。

将来構想委員会 JSPEN-U45（市川理事）

① 現 U45 メンバーの任期と新メンバーの選任について

2024 年 3 月末で退任となる現 U45 メンバーについて、退任後は 2 年程度 Ex-U45 として U45 の活動を支援することが確認された。また、新たに U45 のメンバーを 2 名程度選考し、必要に応じて追加募集も行い、2024 年度初めの理事会に議事を提出することが確認された。

② 新 U45 メンバーの選考委員について

U45 メンバーの選考委員を鍋谷副理事長、石井相談役、熊谷相談役、市川将来構想委員長、竹内将来構想副委員長、そして市川将来構想委員長が指名した現 U45 の 2 名とすることが承認された。

支部統括委員会（三原理事）

① 支部学術集会運用規程の改訂について

支部および支部学術集会の運営をマニュアル化するため、現行の支部規則・支部学術集会運営細則の内規を整備し、以下の改定を進めていることが確認された。

- ・支部口座・支部学術集会口座一括管理
- ・大会長選出と計画赤字の承認プロセス確立
- ・新会員管理システムと JSPEN アプリを利用した支援体制の確立

認定・資格制度委員会（増本理事）

① 認定医・指導医更新要件の見直しについて

認定医・指導医の更新が滞り、認定教育施設の減少が問題となっているため、新たな更新要件として認定医・指導医向けの更新セミナーを新設し、更新時の単位とする提案が承認された。本セミナーの概要については、次回理事会に提出することが確認された。

ガイドライン委員会（竹内理事）

① ガイドライン委員の追加について

新体制による「がん患者診療のための栄養治療ガイドライン-各論編-」の制作に際し、放射線治療分野の知見が必要なため、その分野の専門である坂中克行氏と浅田裕美氏の2名の追加が承認された。また、前委員会メンバーによる「がん患者診療のための栄養治療ガイドライン2024年版-総論編-」の制作進行状況と、新体制のもとのタイムスケジュールが報告され、各論編の制作と発行目標を示す小グループ案とタイムスケジュール案が確認された。

【持ち回り理事会再審議】

総務委員会（鍋谷副理事長）

① 定款施行細則で定める理由(病気・出産・育児・留学)以外の休会申請について

2023年4月1日から2023年6月30日の期間において、定款施行細則に記載されている理由以外での休会申請が5件あった。これらの休会申請の多くが転職や転勤によるものであり、区切りをつける必要があるとの意見が出された。議論の結果、今回の議事においては対象者の休会申請を認めることが決定した。また、今後については総務委員会において、転勤期間や資格保持者の扱いなどについて検討することとなった。

教育委員会 栄養士・管理栄養士部会（斎藤理事）

① 他学会共催セミナーについて

加算取得施設増加を目指し、JSPEN、日本栄養士会、日本健康・栄養システム学会の3学会合同でセミナーを実施することが承認された。なお、他職種についても3階建ての資格制度について検討を重ねていくことが確認された。

VIII. 各種委員会・部会・WT・WG・PT 報告事項

総務委員会（鍋谷副理事長）

① チャットボットの運用状況の報告

ウェブサイト、マイページでAIチャットボットの運用を開始し、5日間で2,000回を超える利

用があったことを報告された。今後、会員周知と FAQ 充実を課題に半年内により高い回答率・正答率を目指すことを報告された。

将来構想委員会（市川理事）

①入院患者に対する栄養管理体制の調査実施について

「入院栄養管理体制加算」により病棟専従管理栄養士配置が増加している一方で、従来の NST 栄養サポートチーム加算との調整が課題であることが確認された。入院患者栄養管理体制の調査を実施し、今後 NST 委員会と NST のあり方について検討を重ねていくことが報告された。

支部統括委員会（三原理事）

①各支部学術集会の中間報告について

各支部学術集会の収支状況が報告された。支部ごとに参加人数や共催数に差異が見られ、特に赤字計上の可能性がある支部に関しては、開催方法の変更や再度の共催に向けたアプローチを進めていく方針が報告された。

教育委員会（千葉理事）

①2024 年度 JSPEN 臨床栄養代謝専門療法士セミナーについて

JSPEN2024 会期中に、集合型で JSPEN 臨床栄養代謝専門療法士セミナーを実施することが報告された。本セミナーは「がん」と「周術期・救急集中治療」領域、それぞれワークショップ形式、50名の島組で実施することが確認された。

IX. その他（比企理事長退席、議長を鍋谷副理事長に変更）

・理事長の任期延長について

①推薦理事問題について

現在の定款では、理事長退任後も推薦理事が残ることが指摘された。定款には理事長の退任後も影響はないと記載されているが、このままの状態の問題がないのかについて疑問が投げかけられた。

②若手理事任期について

若手理事の任期を2期4年とすることで問題は解決するとの意見が出されたが、しかしこの措置は推薦理事の問題を解決しない点が指摘された。

③理事長と理事の関係について

理事長も理事であるため、選挙に出て理事になることが前提とされている。無条件で理事長になるわけではないことが指摘された。理事会での議論が分かりにくいいため、社員総会での説明が理解されるかについても議論された。

④議論の広がりについて

当初は理事長の任期を2年延長することに焦点がおかれていたが、議論が進むにつれて、推薦理事および若手理事の問題など、より広範な問題が浮上してきた。2年延長の案から多くの変更

が必要であることが明らかになり、話が複雑化しているとの指摘がされた。

⑤ 現状と課題の再評価

これまでの認識では、理事長の任期延長は組織の利益に合致しているとされていたが、その結果として話が複雑になってしまったとの認識が共有された。現時点では理事会の総意が得られていないため、新たな案を検討し、臨時理事会を開催することが提案された。またその際は、現理事長が構築した若手理事などのシステムの変更が少なく済むような案を模索すべきとの意見も出された。

上記の点を踏まえ、現在の問題点に対する議論を継続し、新たな解決案を検討することが決定された。臨時理事会の開催に関する可能性を検討するため、新たな案ができ次第、日程調整を行うことが確認された。

X. 次回理事会、社員総会

■2023年度 第1回臨時社員総会

日程：10月1日(日) 15時～16時

会場：AP 日本橋

■2023年度 第5回定例理事会

日程：11月6日(月) 18時～20時

会場：AP 日本橋

以 上

2023年8月28日(月)